

表 女性管理職が少ないあるいは全くいない理由別事業所数および割合
(北九州市、全国) (複数回答)

女性管理職が少ない理由のうち、全国との格差が最も大きい理由は「現時点では、必要な知識や経験、判断力等を有する女性がいらない」で、北九州市(40.1%)は全国(58.3%)より18.2ポイント低い。

	本市				国
	回答者全体 n=529		常用労働者数 30人以上 (民間のみ) n=307		常用労働者数 30人以上 (民間のみ)
	事業所数	割合(%)	事業所数	割合(%)	割合(%)
入社時の女性社員の割合が少ない	223	42.2	139	45.3	—
現時点では、必要な知識や経験、判断力等を有する女性がいらない	180	34.0	123	40.1	58.3
将来管理職に就く可能性のある女性はあるが、現在、管理職に就くための在職年数等を満たしている者はいない	96	18.1	57	18.6	19.0
勤続年数が短く、管理職になるまでに退職する	88	16.6	51	16.6	16.2
全国転勤がある	27	5.1	22	7.2	2.0
時間外労働が多い、または深夜業がある	38	7.2	23	7.5	6.0
家庭責任を多く負っているため責任ある仕事に就けられない	31	5.9	19	6.2	11.4
仕事がハードで女性には無理である	32	6.0	21	6.8	5.5
女性が希望しない	114	21.6	76	24.8	21.0
上司・同僚・部下となる男性や顧客が女性管理職を希望しない	5	0.9	1	0.3	1.8
女性には役職登用に必要な職務経験をつませにくい	37	7.0	29	9.4	—
評価が女性より男性に有利に働く	13	2.5	8	2.6	—
現在のところ、経営課題として認識していない	68	12.9	41	13.4	—
その他	65	12.3	27	8.8	20.1

※国:「平成25年度雇用均等基本調査」企業調査

※女性管理職が少ない(1割未満)あるいは全くいない役職が1つでもある事業所を100%として集計

※「-」は選択肢が存在しなかったことを表す

(資料)北九州市立男女共同参画センター・ムーブ『北九州市における女性の活躍推進実態調査報告書』(平成26年度調査)